

商店街をもっと見る。もっと知る。

# 京都商店街新聞

KYOTO SHOPPING DISTRICT PRESS

## CONTENTS

インタビュー：京都駅近鉄名店街商店街振興組合（みやこみち）／商店街の取り組み／商店街創生センター10周年記念フォーラムレポート／U59レポート／京都発企業の魅力探訪／and more…



## 商店街×駅×商業施設 3つの顔を持つ駅ナカ商店街

観光客も、働く人も、暮らす人も利用する京都駅の商店街。本年度7代目に就任された児嶋理事長に貴重なお話を伺いました。



### 商店街の成り立ちと 発展の経緯

1964年（昭和39年）の東海道新幹線開業とともに誕生した京都駅近鉄名店街商店街（みやこみち）。発足当時は新幹線利用者向けのお土産店が中心で、3年後には20店舗が加盟するなど、順調に規模を拡大しました。大きな転換期となったのは京都駅ビルの完成時。「南北自由通路」の整備により、北側の駅ビルから南側の商店街までの移動がスムーズになりました。観光客が飲食や買い物を楽しみながら駅を回遊する動線が確立されました。2008年（平成20年）には新幹線の耐震補強工事に伴う全店休業を経て、全面リニューアルを実施。この時に「みやこみち」の愛称が生まれました。

観光客も、働く人も、暮らす人も利用する京都駅の商店街。本年度7代目に就任された児嶋理事長に貴重なお話を伺いました。

### 3つの特徴と振興組合の強み

他の商店街ではみられない特徴として、みやこみちは「商店街」「駅」「商業施設」という3つの役割を持っています。背景には、従来の新幹線利用客に加え、現在はインバウンドやビジネスマン、周辺で働く人々、ファミリー層、駅利用の学生など、多様な人々が日常的に行き交う場所へと変化したことが挙げられます。

また、運営面で独自のスタイルを貫いていることも特徴です。365日、決まった営業時間で休業なく旅人を迎える「駅施設」としての公共性を守っていること。そして物理的な面積の制約から加盟店舗数を最大41店舗に定めていることなどです。

さらに特筆すべき点が、「振興組合」という法人格を持っていることです。振興組合は京都市長の許可がなければ設立できず、新幹線のターミナル駅という一等地に

2026.1 Vol.20

発行：京都府商店街振興組合連合会  
〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78（京都経済センター3階）  
TEL：075(342)0301 FAX：075(342)0302  
URL：https://syouren.or.jp

次号予告 2026年3月末発行  
七条商店街振興組合 インタビュー



## インバウンドから ファミリー層まで来街

京都駅近鉄名店街商店街振興組合（みやこみち）

時代とともに来街者が多様化してきた商店街。さまざまな人々を温かく迎え入れるため、さまざまな取り組みをされています。

### 客層の若返りと「日本人観光客」への思い

来街者の変化に目を向けると、京都駅の賑わいは「昭和」「平成」「令和」と着実にその姿を変えてきました。昭和の時代では観光客が7～8割、残りが通勤客やサラリーマンで占めていたそうですが、令和の現在はインバウンドの急増に加え、若年層の利用も目立っています。かつては新幹線の発着時刻に合わせた賑わいの波がありましたが、現在は一日中通切れることなく活気に溢れています。この変化について、児嶋理事長は「インバウンドの増加だけでなく、全体的に利用者の若返りを感じますね」と話されています。周辺には京都水族館やイオンモールができたことで、かつての「お土産を買うだけの通り」から、ファミリー層や学生も行き交う賑やかな「街」へと変貌し、新しい人の流れが起きているとお話しidadしました。

### 商店街シンボル

#### 「黄金の柱」と「みやこの滝」

黄金の柱は、2008年の新幹線耐震補強工事で設けられた構造柱を覆うもので、現在はその美しさからフォトスポットや待ち合わせ場所として親しまれています。また、象徴的な存在として「みやこの滝」も挙げられます。イオンモール京都がなかった頃、奥まで足を運ぶ



人が多いガラス壁面を利用した、ふたば書房の広告デジタルサイネージ

フォトスポットとしても人気の「みやこの滝」

とり八名物「ほんから」に舌鼓！



お店のユニークな取り組みや工夫をご紹介

### 店舗Pick Up! 商店街図鑑

京都駅近鉄名店街  
商店街振興組合  
(みやこみち)

料理も接客もマニュアルに頼らない、みやこみちの名店  
とり八

「はい、安い、うまい」をモットーに、サラリーマンを中心長年愛されている創業46年の居酒屋。テレビや雑誌で紹介されてきた名物「ほんから」は、自家製ほん酢で味わう唐揚げで、一度食べると忘れられない看板メニューです。

そのほかにも、「どじょうの唐揚げ」や「馬肝のつくり」など、他の居酒屋ではあまり見かけない料理が並ぶも魅力の一つ。従業員マネジメントでは、接客含め、スタッフをあえてマニュアルで縛らず、一人ひとりが考えてお客様と向き合うスタイルを大切にしているそうです。その結果、スタッフによる視察や新メニューの提案などが積極的に行われています。常連客とのつながりを大切にし、オリジナルカレンダーを制作するなど、関係性を育む工夫も欠かしません。観光客の中にも年4～6回通う人もいるそうで、日常と旅行の両方に寄り添う、みやこみちの名店となっています。

☎075-691-4680  
営業／11:00～22:00(L.O.21:30)  
ランチ 11:00～14:00  
定休日／なし



立地を強みに変える老舗書店の戦略  
ふたば書房 京都駅八条口店

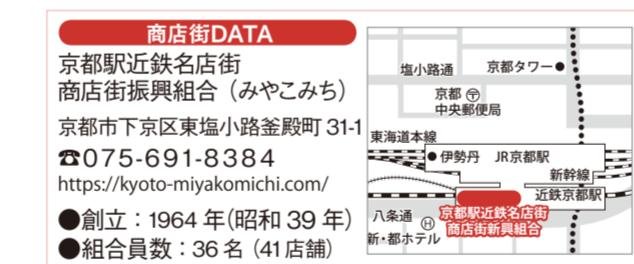
関西を中心に26店舗展開する京都の老舗書店で、地域密着型の運営を大切にし、気軽に立ち寄れる「まちの本屋さん」として親しまれています。京都駅八条口店は新幹線利用のサラリーマンやインバウンド客が多い立地を活かし、現場主義に基づいて品揃えをしているそうです。

とにかくビジネス書は京都の書店のなかでも「多く、早く」売れているとのこと。インバウンド客には折り紙を英語で解説した書籍や日本語原作の漫画が人気で、日本文化への関心を意識したラインナップにも配慮しているそうです。また、スタッフには副業として働く人も多く、それぞれの個性や強みが売り場づくりに活かされるような仕組みを取り入れています。

☎075-681-0880  
営業／9:00～22:00  
定休日／なし



取材・文=京都外国语大学 国際貢献学部クローバー観光学科  
畠山瑠虹（2年次）・不破こうこ（4年次）



**京都府中小企業団体中央会 創立70周年記念事業**

**未来創造!** 京都府中小企業 **組合フェア** in みやこめっせ **入場無料**

~中小企業の魅力と活力をひろげよう~

2026.2.22 (日) 10:00 ~ 16:00 開催場所 みやこめっせ 1階第2展示場(全面)

連携から生まれる中小企業・小規模事業者の「技」「ものづくり」「食」を見て・知って体験できるイベントです。ブースコーナーだけではなく、ステージイベントも同時開催! 子供から大人までお楽しみいただける1日です。

**ステージ Stage Program**

- 書道パフォーマンス 原田伸郎 × 京都精華学園高等学校書道部
- 組合PR
- 京都伝統工芸協議会 「京都伝統工芸・新商品コンペティション」表彰式
- フリースタイルフットボール LACCLASSIC
- (一社)次世代ロボットエンジニア支援機構によるロボットフリスビー パフォーマンス
- 紙ヒコーキの飛距離レース(体験) 原田伸郎

**ブース Event booth**

- 展示コーナー 組合の魅力や技術を、実物展示と解説で体感できるコーナー
- 物販コーナー 京都ならではの特産品・組合等の商品が購入できます
- 飲食コーナー 「京都の食」を味わう 会場飲食・テイクアウトができます
- 体験コーナー 伝統産業 伝統の技に触れて、自分だけの作品を作れる体験コーナー
- 体験コーナー ものづくり 創る楽しさを実感できるワークショップ型体験コーナー
- 京都パープルサンガ・京都ハンナリーズ PRコーナー

豪華景品が当たる 大抽選会 も実施いたします!

主催: 京都府中小企業団体中央会  
後援: 近畿経済産業局、京都府、京都市、全国中小企業団体中央会、朝日新聞京都支局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都支局、日本経済新聞社京都支社、産経新聞社京都支局、京都新聞、京都リビング新聞社、NHK京都放送局、KBS京都(予定)  
協賛: 株式会社京都商業振興センター(京都市勤労組みやこめっせ)、公益財團法人京都伝統産業交流センター、株式会社商工組合中央金庫京都支店、株式会社京都銀行、京都中央信用金庫、京都信用金庫、京都北部信用金庫

**京都商店連盟 若手の集いの場**

**第2回 「U59商店街交流会」を開催いたしました**

**ご参加ありがとうございました**

第2回目となる「U59商店街交流会」が2025年11月15日(土)、京都経済センター3階KOINにて開催されました。前回に引き続き、これからの商店街を担う50代以下の方々が参加し、活発な意見交換や情報共有が行われました。

当日は、参加者によるそれぞれの商売の近況報告をはじめ、商店街が抱える課題や力を入れている取組などについて幅広い発表がされました。さらに、それらの発表をもとに多様な視点から意見交換が行われ、「異業種ならではの視点や考えに多くの気づきがあり、大変勉強になった」といった声も寄せられました。

今回はとくに需要の先行きに対する不安が話題となり、昔ながらの店が生き残るという見方が示される一方、老舗においては伝統が新たな挑戦の壁となる課題も浮き彫りになりました。また、外国人観光客と日本人の価値観の違いを踏まえた柔軟な価格設定の必要性、不動産関係者の関与による空き店舗解消の事例も紹介され、前回以上に活発な交流会となりました。商店街は「個の店舗」があつてはじめて成り立っていることを改めて実感する内容でした。

当連盟といましても商業者が中心となって議論できる数少ない貴重な場所と考えています。引き続き商店街同士の交流促進に努め、「第3回U59商店街交流会」の準備を進めてまいりますので、ぜひご参加ください。

今回ご参加いただいた商店街 新大宮商店街振興組合/ゼスト御池会/東山三条商店会/新京極商店街振興組合/京都錦市場商店街振興組合/四条大宮商店街振興組合/京都駅近鉄名店街商店街振興組合(みやこみち)

**商店街川柳**

新入生 街も一緒に 身をただす 吟次郎さん

お水取り 寒さも終わり 幸を呼ぶ ひろしさん

胃袋も 心もほっと 商店街 ごまどうふさん

毎号応募の中から 抽選で1名様に 図書カード(1,000円分) プレゼント!

ご応募は こちらから

QRコード

**商店街創生センター 10周年記念フォーラム**

テーマ 商店街のこれまでとこれから

多くの方々にご参加いただき 盛況のうちに開催することができました

商店街創生センターは、商店街が抱える課題の解決や活性化に向け伴走支援に取り組むため、平成27年10月に開設されました。

令和7年11月30日に、「商店街創生センター10周年記念フォーラム」を開催。商店街関係者・商店街に関する事業者・大学生や高校生、商店街に興味を持つ方々など、約80名が大集合。それぞれの立場を超えて、「商店街」というキーワードでつながり、学び合う時間となりました。

**第1部 対談(西脇知事と行き活きトーク)**

西脇知事と府内各地で商店街の賑わいづくりに取り組むリーダー4名による対談が行われました。

男山中央センター商店会副会長 木山亮さん	堀川商店街協同組合専務理事 西村奈美さん	平野屋商店街振興組合専務理事 福原雅作さん	竜馬通り商店街振興組合理事長 森一起さん
賑わいの創出には、商店街と地域の連携が重要。子どもや学生と一緒にミニ・ミニ・ミュンヘンのようなイベントを今後も行い、地域のネットワークを広げていきたい	商店街は地域の人を元気にする場所。地元の中学生や高校生など、若い世代を巻き込み、空き店舗などを活用して来街者の増加につなげていきたい	商店街と同様に商店街を経営する意識を持ち、特徴を活かしたイメージ戦略を進めている。強みを育て、「また来たい」と思ってもらえる魅力づくりが重要と考える	地域活性化のためには、地元に愛着を持った人を増やしていくことが不可欠。地域の賑わいを生み出す核として、商店街が発展していくよう、地域の個性に合わせた伴走支援を続けてまいりたい

**第2部 交流会**

京都府知事 西脇隆俊

和気あいあいと笑顔での会話も弾みました。

**予告 商店街創生フォーラム 2026を開催します!**

開催日時: 2026年2月23日(月・祝) 15:00~18:30 (14:30受付開始、18:30~20:00懇親会)

対象: 商店街関係者、商店街で新たに出店を希望する人、地域づくりや商店街活性化に関心のある方等

場所: 京都経済センター3階KOIN 定員: 100名程度

お申し込みは こちら

QRコード

**京都発企業の魅力探訪**

**第7回 株式会社TOAI(ジャンカラ)**

全国で活躍する京都発の企業は数多く存在しています。今回は特別編として、全国で多店舗展開するカラオケ店「ジャンカラ」の魅力に迫り、お客様づくりの工夫やポイント、人材を活かす方法など、貴重なお話を久安店長と広報担当の野呂さんにお聞きしました。

**多店舗展開されるうえで、差別化や工夫など教えていただけますか?**

まずは競合店にない取り組みが重要だと考えています。ジャンカラでは、予約受付からオーダーや選曲、支払いまで完結できるアプリ「すぐカラ」を独自開発したこと、お客様からご好評をいただいている。ちなみにこれはコロナ禍での非接触サービスの一環として始まりました。また、地域や客層に合わせたコンセプト店舗も特徴で、京都河原町近江屋では坂本龍馬をテーマに、大学生と協力して店内や客室をデザインし、観光客やファンの方から喜ばれています。

**サービス業として1番重要視されていることはどんなところですか?**

従業員も含めて、関わるすべての人が笑顔になれる事を大切にしています。笑顔のポイントは人それぞれだからこそ、お客様一人ひとりを見せて、その場に合った接客を心がけています。ジャンカラではマニュアルに縛られない、スタッフの気きを柔軟に取り入れ、現場にすぐ反映できる体制も整えています。

**SNSを使った広報戦略で、力を入れているポイントなどありますか?**

インスタ、Facebook、LINEのオープンチャットを使い、お客様とのコミュニケーションを大切にしています。来店数が天候に左右される際には、雨の日クーポンや寒い日うどんを提供するサービスをタイムリーに配信するなど工夫しています。また、Googleビジネスプロフィールの投稿機能で、Googleマップ上にキャンペーン告知を出したりもしています。

**カラオケ店ならではのクレーム対応法などありますか?**

クレームは改善だけでなく、次回来店にもつながるチャンスだと考えています。不備があれば早急に改善し、場合によっては時間サービスや割引券でフォローすることもあります。また、料理提供に時間がかかる場合は事前に伝えするなど、クレームになりそうな点を先回りして対応することも大切にしています。

**採用などにおいて独自の取り組みや工夫などありますか?**

髪型や髪色、ネイルや服装を自由化(調理担当除く)したこと、アルバイト採用が増え、お客様との会話も広がる効果がありました。学生スタッフが多いため、テストや希望休暇が重なることもあり、同じ学校からの採用が偏らないようにしています。基本的な礼儀作法を前提に、ジャンカラでどう活躍してくれるかを重視し、希望や適性も見ながら採用し、社会経験の場として成長してもらいたいと考えています。

**ジャンカラ**

株式会社TOAI(本社)  
京都市中京区三条通烏丸西入御倉町85-1 烏丸ビル5階

QRコード

**京都商店街めぐり デジタルスタンプラリー**

**盛況のうち終了しました**

ご参加の商店街の皆様 ありがとうございました

参加商店街

2025年11月1日から12月28日までに開催された「京都商店街めぐりデジタルスタンプラリー」が、皆様のご協力のおかげで盛況のうちに終了しました。本イベントでは昨年度に比べ約200名もの参加者が増加し、8割以上の方が期間中に商店街でお買物やご飲食をしていただく結果となりました。

なお、本年度はポイント制を導入し、参加商店街に設置された二次元コードからポイントを取得。10ポイント貯まればシルバーチャレンジ、50ポイント(または全商店街制覇)貯まればゴールドチャレンジのルールにて実施し、幅広い年代の参加者が楽ししながら商店街を巡りました。

イベント終了後のアンケートでは、半数以上の方が「3箇所以上初めて訪れた商店街があった」と回答。普段訪れることが多い商店街への来街するきっかけにもなり、多くの方に商店街の魅力を伝えることができました。

**商店街・商店主のみなさまへ**

**掲載情報、広告大募集中です!**

**お問い合わせ先**  
京都商店街新聞  
編集部宛

■お問い合わせ内容によっては  
すぐに返信できない場合がありますので、  
あらかじめご了承ください。

QRコード